

社会科シラバス 高校2・3年

1. 学習の到達目標と評価の観点

	単位数	学科・学年・学級	使用教科書と補助教材
(科目) 日本史探究	4 単位	第2・3 学年	『日本史探究』実教出版（教科書） 『新詳日本史』浜松書店（図説） 『日本史探究 マイノート』実教出版（副教材）
学習の到達目標	・資料の読み取りを通して真理を追究していこうとする姿勢や、得られた知識・技能を実社会に役立てようとする意欲を養う。〔Science〕 ・世界全体を俯瞰するグローバルな視点と地域の問題を掘り下げて把握するローカルな視点を併せ持つ柔軟な思考力を養い、それに関する自分の考えや価値観を発信できるとともに、社会の中で自身に求められている役割を認識する。〔Global〕 ・探究心を持ち、物事を論理的にとらえ、現在世界各地で起きている問題を歴史的な視点から読み解き、よりよい解決策を導き出す。また、その解決策を実行するために、他者の意見を尊重しながら協働できる人間になる。〔Liberal Arts〕		
評価の観点	授業に前向きに取り組み、「なぜこのような出来事が起きたのか」といった疑問を持ち、知識を活用し、他者と協働しながら、その疑問を解決しようとする姿勢がある。＜主体性・多様性・協働性＞ 日本の歴史を学びながら、それぞれの出来事を比べたり、たがいのつながりや影響を探究し、自分の考えを発信することができる。項目をただ暗記するのではなく、「原因→経過→結果」という因果関係をつかむことで、社会を動かす躍動感を体感する力をつける。＜思考力・判断力・表現力＞ 諸課題の形成過程について考察したり、資料を読みとるために必要な知識・技能を身につけられている。＜知識・技能＞		

【点数化が難しい課題については、観点別評価とする。】

- A：「十分満足できる」状況と判断されるもの
 B：「おおむね満足できる」状況と判断されるもの
 C：「努力を要する」状況と判断されるもの
 D：未提出、未実施

2. 学習内容及び評価方法

時期	単元	学習のねらい・到達目標
第2学年 1学期 中間まで	第3部 第1章：東アジア世界の変容と天下統一 第2章：幕藩体制の成立と展開	・戦国期から織豊政権成立にかけて完成していく近世の構造を説明できる。 ・江戸幕府がどのように幕藩体制を固め安定した統制を実現したのか説明できる。 ・幕藩体制と鎖国体制の確立が安定した社会をもたらしたことを説明できる。 ・支配階級である武士が百姓をどのように統制し、産業発展を実現したか説明できる。 ・幕藩体制の動揺とそれに対応するための幕政改革の特色について説明できる。
第2学年 1学期 期末まで	第3部 第3章：近世の国家・社会の変容 第4部 第1章：開国から倒幕へ	・「内憂外患」いう視点から内政と外交が変化していくことを説明できる。 ・開国を契機に幕末の動乱が始まり、徳川の支配が混乱していくことを説明できる。 ・幕藩体制が内乱と廃藩によって終焉を遂げていく、その経過について説明できる。
第2学年 2学期 中間まで	第4部 第2章：明治維新 第3章：近代国家の形成	・明治新政府の近代化政策について何をめざしたのか具体的に説明できる。 ・殖産興業や文明開化などから日本人の西洋化が進んでいくことを説明できる。 ・近代国民国家を進めていくために始まっていく思想や文化について説明できる。
第2学年 2学期 期末まで	第4部 第4章：両大戦間の日本 第5章：十五年戦争と日本	・第一次世界大戦の前後で、日本社会はどう変化し、人々にどのような影響を与えたのか説明できる。 ・日本がなぜ十年戦争に向かうことになったのか、国内政治・経済・外交情勢をもとに説明することができる。
第2学年 3学期 期末まで	第4部 第6章：戦後日本の形成 第7章：グローバル化のなかの現代日本	・GHQが日本に求めた政策から、国際社会における日本について説明できる。 ・冷戦はアジアにどのような影響を及ぼしたのか説明できる。 ・21世紀の世界や日本の政治・経済は、これまでとどこが大きく異なっているか考察できる。

第3学年 1学期 中間まで	第1部：原始古代の日本と東アジア 第1章：日本文化のあけぼの 第2章：ヤマト政権の成立と古墳文化 第3章：律令国家の形成	・採集から生産中心へと変化し、農耕が社会をどのように変えたかを説明できる。 ・中国文献史料から日本列島内の倭国の動き(国内外)を読み取ることができる。 ・古墳時代から飛鳥・白鳳期にかけてのヤマト政権における変化を説明できる。 ・天武・持統朝以降の律令国家がどのように完成したのか説明できる。
第3学年 1学期 期末まで	第1部：原始古代の日本と東アジア 第4章：古代の国家・社会の変容 第2部：中世の日本と世界 第1章：荘園公領制の成立と院政	・聖武天皇を軸とした奈良時代の社会・政治の動向を説明することができる。 ・桓武朝から嵯峨朝において進められた律令体制の変質について説明できる。 ・平安時代中期における地方支配の変化と武士の台頭について説明できる。 ・摂関政治から平氏政権における中央政治の展開について説明できる。
第3学年 2学期 中間まで	第2章：中世の国家・社会の展開 第3章：中世の国家・社会の変容	・鎌倉幕府成立から衰退への社会変化と、武士社会の特質について説明できる。 ・鎌倉幕府との類比・対比から室町幕府を分析しその特色について説明できる。 ・守護領国制が確立しどのようにして守護大名が成長するのか説明できる。 ・日明貿易の発展と変遷から周辺諸国との外交関係について整理することができる。 ・民衆が台頭する一揆の時代であることの社会的背景について説明できる。
第3学年 2学期 期末まで	全範囲	・テーマ史を通じて今まで学習した事項について多角的な視点で説明することができる

評価の観点及び内容	評価方法（具体例）
教員の発問に対し、積極的に取り組んでいる。周りのクラスメイトと主体的に意見の交換をする様子がみられる。＜主体性・多様性・協働性＞	loilo 課題(提出)
設定された課題に対する自分の考えを、他者にも読み取れるように適切に説明することができる。＜思考力・判断力・表現力＞	定期考査・loilo 課題(内容)
歴史的な知識を身につけられている＜知識・技能＞	定期考査・loilo 課題(内容)